

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		家族と社会学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	通年	教室名	301教室
担 当 教 員		出口 顕	実務経験と その関連資格	島根大学名誉教授(もと法文学部教授)			
《授業科目における学習内容》							
多様性が尊重される時代に家族の多様性をどのように考えればよいか、社会学や文化人類学の視点から、不妊治療、LGBTQの家族形成、養子縁組などの事例を紹介しながら検討し、偏見を持つことなく多様性を理解し受け入れる態度を養う。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験の成績を基礎とします。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
特になし。その都度関係する資料を配付します。							
《授業外における学習方法》							
不妊治療、LGBTQ、同性婚などはしばしばメディアで取り上げられています。新聞、テレビなどの記事やニュースに気をつけて見ておくようにしてください。							
《履修に当たっての留意点》							
社会人類学(文化人類学)的な視点で家族を論じます。欧米の事例や先住民社会の事例を中心に取り上げます。そこから各自日本の事例を調べて考えて、その結果をレポート等で提出してもらい、あるいは授業でほうこくしてもらいもあります。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会人類学がどういう学問かを理解する		講義資料+テキスト他	復習を勧めます。	
		各コマにおける授業予定	総論:この先14コマの予定と試験の予定をお話しします。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の文化の普遍的側面が理解できるようにする。		同上	同上	
		各コマにおける授業予定	通過儀礼と言語の普遍的側面について説明します。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	命名の多様性と個人名が人の分類であることがわかる		同上	同上	
		各コマにおける授業予定	名前と家族				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	名前の発生について日本が特殊な社会であることを理解する		同上	同上	
		各コマにおける授業予定	名前を口にしてはいけない社会についての説明します				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器移植が人のアイデンティティに関わる問題であることがわかる		同上	同上	
		各コマにおける授業予定	心臓移植に伴う人格の変化という問題を取り上げます				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖医療の基礎知識を得る	同上	同上
		各コマにおける授業予定	人工授精・体外受精・配偶子提供・代理出産他を説明します		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	核家族が現代では当たり前でないことを理解する	同上	同上
		各コマにおける授業予定	多様な家族の形態を説明します		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	死後生殖と代理出産について社会によって考え方が大きく異なることを理解する	同上	同上
		各コマにおける授業予定	イスラエルの事例を紹介します。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖医療を各国がどのように法的に規制しているかを理解する	同上	同上
		各コマにおける授業予定	イギリスのHFE法について説明します。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	出自を知る権利について理解を深める	同上	同上
		各コマにおける授業予定	スウェーデンの人工授精法について説明します。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	北欧での国際養子縁組の歴史と動向を理解し、日本との違いがわかるようになる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	国際養子縁組の歴史と現状を説明します。		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	国際養子がアイデンティティの問題と切り離せないことが理解できるようになる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	ダブルアイデンティティという考え方について説明します。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	養子に対する差別や偏見のメカニズムが理解できるようになる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	養子と出生国・生みの親との関係について説明します。		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「血は水よりも濃い」は普遍的真理ではないことを理解する	同上	同上
		各コマにおける授業予定	生母との再会が養子に与える影響について説明し、再会すれば良好な関係になるわけではないことを話します。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	母性愛は本能ではないことを理解する	同上	同上
		各コマにおける授業予定	18世紀イギリスの乳母保育について説明します。		